

グローバルコミュニケーション教育センター主催
新入生に贈る公開講演会

これから生きていく世界で みなさんに期待されていること

—多言語社会インドへの3回目の出張から帰国して—

講 師:

浜名 恵美

筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター長
筑波大学人文社会系教授

日 時:

2015年5月8日(金)
15:00-16:30

(講演60分、質疑応答30分)

会 場:

大学会館国際会議室

講師はいままで3回インドに出張した経験がある。コルカタへの飛行機に乗り継ぐために立ち寄るシンガポールも多文化・多言語社会として有名だが、広大なインドの多文化・多言語ぶりには驚くほかはない。インドに短期間でも滞在してから、ほとんど日本語しか聞こえない国に帰ると、この落差に唖然とする。

ほとんど日本語だけで暮らしていける日本は日本人には楽だとしても、世界的に言えば、もちろん、多民族・多文化・多言語社会の方がはるかに多い。新入生には、社会に出るまでに、グローバル化する世界で思う存分活躍できるようなコミュニケーション力やマルチリンガル能力を身につけることが期待されている。

今回の講演では、異文化コミュニケーションの理論と実践にもとづき、最初のイギリス留学のときの失敗談から、特に英語の4技能を高める方法まで、みなさんがこれからの大学生活を有意義に過ごすためのきっかけになるような話をしたい。(インド各地の写真もお見せする予定)

主催：筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター

協力：筑波大学地域研究イノベーション学位プログラム(ASIP)

筑波大学 ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム(Ge-NIS)



筑波大学
University of Tsukuba